

平成27年度 有老協サービス第三者評価結果

ホームID	ホーム名	法人名	評価日
2704	ウェルハウスのぞみサンピア	(株)エスポワール	H27. 1. 23
有老協HPでの評価結果公表希望		有	
評価機関	あい・ライフサポートシステムズ		

評価結果

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	A	B	2.3.4	A	A	6.2.1	非	C
1.1.2	A	A	2.3.5	A	B	6.2.2	非	B
1.1.3	A	A	2.3.6	B	C	6.2.3	非	C
1.1.4	A	B	2.3.7	B	B	6.2.4	非	C
1.2.1	A	A	2.3.8	B	B	6.2.5	非	C
1.2.2	A	C	2.3.9	A	A	6.2.6	非	A
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.7	非	A
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	A
1.3.2	A	A	2.4.1	A	A	6.2.9	A	A
1.3.3	A	A	2.4.2	A	A	6.3.1	非	A
1.4.1	A	A	2.4.3	A	A	6.3.2	A	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	A	A
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	B	C
1.4.4	A	A	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	A	A	3.1.1	C	B	7.2.1	A	A
1.4.6	A	A	3.1.2	A	A	7.3.1	非	B
1.4.7	A	A	3.1.3	B	B	7.3.2	非	A
1.4.8	A	A	3.1.4	A	A	7.3.3	A	A
1.5.1	A	A	3.1.5	非	非	7.3.4	非	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	A	7.4.1	非	B
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.2	非	A
2.1.1	A	A	4.1.1	A	A	7.4.3	非	A
2.1.2	B	B	4.1.2	A	A	7.4.4	非	B
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	A
2.2.2	A	B	4.1.4	A	A	7.5.1	非	A
2.2.3	A	A	4.2.1	A	A	7.5.2	非	A
2.2.4	A	A	4.2.2	A	A	7.5.3	A	A
2.2.5	B	B	5.1.1	A	A	7.5.4	非	A
2.2.6	A	A	5.1.2	A	A	7.5.5	非	B
2.2.7	A	A	5.2.1	A	B	7.5.6	A	A
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	A	A	7.6.2	A	A
2.2.11	A	A	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	非	非	6.1.1	非	B			
2.3.2	B	B	6.1.2	A	A			
2.3.3	A	A	6.1.3	A	A			

評価機関の所見

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
2-4-3	発生したヒヤリハットや事故は報告書として記録され、各ユニットでのカンファレンスにより、再発防止策が検討されています。事故対策委員会において、各ユニットで検討された再発防止策の吟味を行い、検討内容や再発防止策の不足があった場合は、差し戻しや委員会からの提案を行う事で、事故の再発防止に努めています。
5-1-1	厨房には和食、洋食専門のシェフが常駐しており、和洋食からの選択メニューを提供をしています。温泉施設を併設しており、一般の来館者へも食事の提供をしている事から、アラカルトメニューも充実しています。またレストランは入居者用、来館者用と分けけてはいるものの、一体化している事から、賑やかな雰囲気を楽しめる事ができます。更に自立の入居者の方は通常提供される食事を断り、好きなアラカルトメニューから選択することができるなど、食への意欲や楽しみを持ち続けられるよう支援しています。
5-1-2	年に一度、嗜好調査のアンケートを実施し、より高い満足度を得るための検討を行っています。また運営懇談会とは別に毎月行われている入居者懇談会において食事に関する意見交換や要望の聴取を行っています。お米の種類の要望など全ての入居者の理解を得ることは難しい事を理解した上で、できるだけ多くの入居者に満足していただけるよう、検討を繰り返しています。調理上の工夫により対応できる蕎麦の茹で加減や味付けなどは厨房職員が入居者の好みを把握しており、個別対応するなど、不断の努力をしている事が確認できました。
6-2-8	家族等への定期連絡として、ホームでの生活やレクリエーションの様子が記された「サンピア便り」「サンピア別館便り」を発行し、行事案内等と合わせて、毎月の請求書とともに郵送しています。このお便りの郵送の際には、普段の様子や家族にお知らせしたい個別の事柄を、居室担当の職員が自筆で記した手紙「一筆箋」を同封しています。送付された「一筆箋」の控えを確認したところ、職員と入居者との日頃の暖かな関わりをうかがい知る事ができました。
7-2-1 7-5-4	身体的あるいは精神的な理由等から閉じこもりがちな入居者に対しては、独自のケアプランを作成し、居室からの外出や館外への外出を計画的に支援しています。館内において居室に引きこもらないようホールでのお茶の提供、レクリエーションや各種教室へのお誘いを意図的に行い、館外へは入居者の希望や特性に合わせて計画的に外出支援を行っています。
7-5-1	褥瘡予防のマニュアルを定めたうえで、寝たきりにさせない、座りっぱなしにさせないと言う事を原則に日々の支援を行っており、現在介護居室の入居者も含め一人も褥瘡の入居者が居ないとの事です。ベッド上においては小まめな体位交換の実施や、エアマットの導入を行い、車椅子はあくまでも移動手段である事を徹底し、椅子に座り直して生活していただく事を旨としています。また栄養管理の面からのアプローチも行っている事で、現在の褥瘡ゼロが実現されているものと思われれます。

2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
2-3-6	入居希望者の希望に応じて財務諸表の閲覧は行える体制にはなっていますが、入居者に対してホームの収支状況を報告するにまでは至っていません。毎月行っている入居者懇談会や、年二回開催されている運営懇談会など、報告する機会は多くあり、運営状況の報告や意見の聴取や交換は行われていますので、これらと合わせて収支状況の報告が行われることが望まれます。収支状況を報告する事や、直接説明する機会を設ける事で、入居者からのより大きな信頼を得ることができ、またホームとしても収支改善等必要な課題を明確にすることができると思われれます
6-2-1 6-2-3 6-2-5	住宅型と言う事もあり、ケアマネジャーの作成するケアプランに記載されたインフォーマルサービスのみでの計画になっており、ホームが提供する生活支援サービスに関する計画は確認できませんでした（閉じこもりがちな方にだけは独自のケアプランあり）。併設する通所介護や訪問介護とは別に、有償無償を問わずホームが提供する介護保険外サービスは必要に応じて実施されている事は確認できましたので、自立支援の観点から、計画的にサービスを提供し、評価・検証するケアマネジメントに取り組まれることが求められます。実際に「閉じこもりがち」な方に対しては独自のケアプランを作成し、サービスの提供を行っている事から、他にも必要な入居者に対しても同様の対応をされる事が望まれます。